

ふしぎ発見！海田町 ～海田東魅力いっぱいツアー～

本単元で育成する資質・能力

主体性・思考力

単元について

- 本単元では、児童が自分たちの住む町の魅力を感じ、町のことを進んで紹介していけるようにするため、自分たちの住む町について自分たちで実地調査やインタビューをして調べ、ツアーガイドとしてまとめ、保護者に校区の魅力を紹介する活動を行う。

詳しくは知らない町にある物事を自分たちで調べることで、自分たちの住む町の魅力をさらに感じながら、主体的に情報収集しようとする意欲を育てる。また、町にあるたくさんの方々の魅力をグループごとに調べ、調べた物事の中からツアーガイドに入れる内容を選んでいくことで、集めた情報を整理し、物事を関連付けて考える力を付けることができる。さらに、保護者に紹介するといったゴールを明確にすることで、相手意識をもち、効果的に表現する力も育てたい。

他にも、国語科の「○○について調べてしょうかいしよう」の学習や算数科の「見やすく整理して表そう」の学習とかかわらせることで、調べた事柄を整理して、聞き手に分かりやすく伝える力も身に付くと考える。

- 本学級の児童は、第3学年の総合的な学習の時間において、1学期は海田町にある「施設」、2学期は海田町の「福祉」をテーマに学習してきた。学級全体で共通の体験を行い、それらの経験からさらに追究したいことを全体で意見交流し、学級全体で制作物（施設すごろく、福祉かるた）を作ってきた。これまでの学習では、課題のもち方や解決する方法を教師が提案し、提案されたことを行ってきたため、探究的に学習する姿勢は十分とはいえない。しかし、「施設」について家族に尋ねて調べたことを自主学習としてまとめてきたり、「福祉」について家や町にある工夫を探してきたりするなど、進んで情報を収集している児童も見られる。12月に行ったアンケートでは、「解決しようとする課題について『なぜだろう』『やってみよう』と思っている（97%）」「課題について『たぶんこうではないか』『こうすればできるのではないか』と予想している（97%）」となっており、課題に対して意欲的に取り組もうとしている傾向がうかがわれた。一方、活動に意欲的に取り組もうとしているが、課題を自分の力だけで解決するといった経験が少ないため、実際に調べてまとめていくまでには及んでいない児童もいる。アンケートでも、「課題を解決するために、進んで、資料を集めたり取材をしたりしている（72%）」「課題を解決するための情報を集める前に、どのような方法だと必要な情報を集めることができるかを考えている（69%）」となっている。情報収集の仕方が分からないといった児童もいるため、進んで情報収集できるように事前に計画を練って調査活動に取り組むようにする。

主体的に学ぼうとする「課題発見・解決学習」の単元開発

指導に当たっては、導入時に1学期に作成した「海田町の施設すごろく」を行い、海田東小学校区のお宝を再確認させ、児童が感じる魅力を出し合い、考えを共有する。そして、保護者アンケートから校区の魅力について、保護者がどれぐらい感じられているのか知り、自分たちの認識との違いに気付く、校区の素晴らしさを伝えたいという願いをもたせる。その後、児童の願いを引き出しながら今

後の活動について話し合い、「自分たちだけが知っている校区の魅力を伝えることができるようにツアーガイドをまとめ、保護者を案内しよう」という**課題の設定**を行う。課題解決に向けて何をどのように調べていくのかをグループごとに考え、実地調査の見通しをもたせるとともに、主体的に学ぼうとする意欲をもたせたい。

情報の収集の段階では、調査内容や調査方法を事前に考えておき、グループごとに実地調査やインタビューを行い、計画的に必要な情報を集めさせる。数を数えたり、量を測ったりすることで、自分たちだけが知っている校区の魅力についての情報を集めていく。そして、何がどういふふうの魅力があるのか写真で撮ったり、インタビューしたりしたことを記録していき、物事を追究し進んで調べていく力を身に付けさせたい。

整理・分析の段階では、集めた情報を関連付けながら整理し、特にツアーガイドに入れたい物事を選び、海田東小校区の魅力は何なのかを考える。そして、校区の魅力について、分類の視点をもとに交流し、ツアーガイドに入れたい物事について整理していき、学級全体でツアーガイドに入れる物事を決めていく。そして、紹介する物事のコースや順番を決めていく。

まとめ・創造・表現の段階では、保護者を「海田東魅力いっぱいツアー」に招待し、校区の魅力を伝える活動を行う。伝えたい魅力がよりよく伝わるように紹介する方法についても検討させていき、本番までに2回のリハーサルをする。1回目は学級でのプレゼン大会を行う。聞き手がしっかりと視点をもって聞き、改善点を伝え、それを受けて紹介方法を改善する。2回目は、学年の友だちに対してプレツアーガイドを行う。発表したことが伝えられたかどうか振り返り、改善点を明らかにして修正していく。そして、これまでの経験を活かして、保護者にツアーガイドを行う。自分たちの振り返りをもとに発表を改善していくことで、相手意識をもち、効果的に表現する力を身に付けさせたい。

振り返りの段階では、ツアーガイドをしている最中のビデオを視聴したり、保護者の感想を読んだりすることで、校区に対する見方・考え方が高まったことを感じさせる。また、情報収集や保護者への発表などの場面から自分たちの学習の高まり・広がりがあったことを感じさせ、今後の学習意欲を高めていきたい。

○ 「学び合い」における協働的な思考の場の工夫

本単元では、児童が友だちの活動を知ったり、かかわったりするために、グループごとの活動表を掲示する。「調べる内容」「調べて分かったこと」「困っていることや友だちに聞きたいこと」を付箋に書いて貼っていく。常に児童の目に触れる場所に掲示し、互いに読み合うことで児童同士のかかわりが生まれ、協働的に学習を進めていくと考える。また、繰り返し対象にかかわっている姿や困っている友だちに声かけをしている姿、自主学习ノートに調べてくる姿など、教師が児童のよい姿を紹介することで、自分の活動を見直し、これからの活動につなげていこうとする意欲を高めたい。

整理・分析の場面では、校区の魅力を伝えるために、理由と共に友だちと意見交流をする。意見交流で出た物事について、Yチャートを用いて分類し、ツアーガイドに入れる内容を全体で意見交流しながら決めていく。分類してみると傾向があることに気づき、校区の魅力は何かを考えることができる。

単元の目標及び内容について

○実地調査やインタビューを通して校区にある魅力について主体的に情報収集しようとする態度や、集めた情報について視点をもって整理・分析したり、校区の魅力を効果的に伝えたりする力を育てる。

[学習方法に関すること]

- ・校区の魅力を積極的に探し、願いの実現に向けて課題を設定する。 【課題発見力】
- ・目的に応じて必要な情報を収集し、整理・分析して、ものの見方や考え方を広げる。

【課題追究・情報活用能力】

[自分自身に関すること]

- ・これからも地域の魅力を大切にしようと考え、地域への愛着を深める。 【自己の生き方】

[他者や社会とのかかわりに関すること]

- ・他者と協働して課題を解決する。 【コミュニケーション能力】
- ・考えと理由を明らかにして、自分の意見を分かりやすく表現する。 【自己表現力】

単元の評価規準

学習方法		自分自身	他者や社会とのかかわり
課題発見力	課題追究・ 情報活用能力	自己の生き方	コミュニケーション能力・自 己表現力
①友だちと話し合いながら活動目標を決め、目標達成に向けて「自分たちだけが知っている校区の魅力を伝える」という課題を見つけている。 ②課題解決に向けた活動計画を立てている。 (ESDの視点：未来)	①ツアーガイド作りのための情報について、調査内容や調査方法を考え、計画的に情報収集している。 ②集めた情報を分類したり、関連付けたりして、地域の魅力について考察している。 (ESDの視点：多面)	①ツアーガイド作りを通して、地域にある物事に進んでかかわろうとしている。 ②地域への愛着をもっている。 (ESDの視点：参加)	①グループの友だちと意見交換しながら、協力して調査活動を行っている。 (ESDの視点：協力) ②活動を通して学んだことや伝えたいこと、発信方法を工夫して効果的に表現している。 (ESDの視点：伝達)

指導と評価の計画

全 21 時間

	学習活動	評 価					
		課	情	自	コ		
1 5 2	<p>課題の設定 (2)</p> <p>○「海田東小校区」の魅力について交流する。</p> <p>○「学級で1つのツアーガイドをまとめ、保護者を案内しよう」という課題を立てる。</p>	○				<p>・ツアーガイドに向けて、主体的に調査活動にかかわろうとする意欲をもち、課題や活動計画を考えている。【課①②】</p>	ワークシート 行動観察
3 5 8	<p>情報の収集 (6)</p> <p>○話し合った場所をグループごとに回り、実地調査やインタビューなどで必要な情報を集める。</p>	○			○	<p>・調査内容や調査方法を考え、計画的に調べている。【情①】</p> <p>・友だちと協力しながら主体的に調査活動に参加している。【コ①】</p>	ワークシート 行動観察
9 5 11	<p>整理・分析 (3)</p> <p>○集めた情報を整理し、特にツアーガイドに入れたい物事とその理由について考え、意見を交流する。</p> <p>○分類の視点と関係付けながら、ツアーガイドに入れたい物事の新たな魅力について考える。【本時】</p> <p>○ツアーガイドに入れる物事を紹介するコースや順番を決める。</p>	○			○	<p>・集めた情報を視点をもって分析し、校区の魅力について考えている。【情②】</p> <p>・ツアーガイドに入れたい物事について、分類の視点と関係付けながら、新たな魅力を見付けている。【情②】</p>	ワークシート
12 5 19	<p>まとめ・創造・表現 (8)</p> <p>○学級でのプレゼン大会を行い、紹介方法を改善する。</p> <p>○学年の友だちに対してプレツアーガイドを行い、改善点を明らかにして修正していく。</p> <p>○保護者を「海田東魅力いっぱいツアー」に招待し、校区の魅力を伝える活動を行う。</p>				○	<p>・校区の魅力について、進んで紹介しようとしている。【自①】</p> <p>・相手に伝わるように表現を工夫している。【コ②】</p> <p>・伝えたいことを相手に分かりやすく表現している。【コ②】</p>	ワークシート 評価カード 行動観察 行動観察

	学習活動	評 価					
		課	情	自	コ	評価規準	評価方法
20 5 21	振り返り（２） ○ツアーガイドをしている最中のビデオを視聴したり，保護者の感想を読んだりして，学習の振り返りを行う。			○		・活動を振り返り，地域への愛着を強めている。【自②】	ワークシート

本時の学習

（１）本時の目標

- ツアーガイドに入りたい物事について，視点を明確にして分析し，新たな魅力を考えることができる。

（２）本時の評価規準

- ツアーガイドに入りたい物事について，分類の視点と関係付けながら，新たな魅力を見付けることができる。

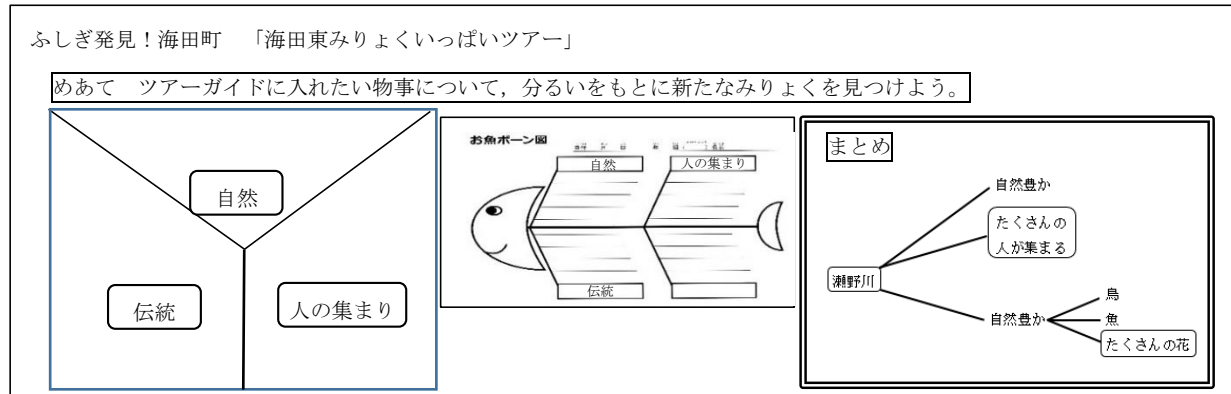
【課題追究・情報活用能力②】

（３）本時の学習展開（10 時間目／全 21 時間）

学習活動 ○主な発問 ・予想される児童の反応 □思考の場の工夫	◇指導上の留意事項 ★めざす児童の姿 ◆「努力を要する」状況と判断した児童への指導の手立て	評価規準〔観点〕 （評価方法） ◎本時で付けたい力 ☆育成したい資質・能力
1 前時までの学習を振り返る。 ・石原公園でする花見 ・ふるさと館の古墳 ・ふるさと館のくすのき ・瀬野川の生き物 ・瀬野川のとび石 ・瀬野川のウォーキングロード ・出崎森神社の火ともし祭り ・出崎森神社のいのこ ・町民センターの部屋 2 本時のめあてを確認する。	◇グループごとに，選んだツアーガイドに入りたい物事をカードにしておき，黒板に貼っておくことで，前時までの学習を想起させる。	
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> めあて ツアーガイドに入りたい物事について，分類をもとに，新たな魅力を見付けよう。 </div>		
3 グループで物事を分類する視点を決める。 ○これまで出た物事を仲間分けして，どういう分け方をしたのかキーワードを発表しよう。 ・「自然」，「伝統」，「人が集まる」の3つに分けた。	◇分類した視点を明らかにして，どのように分類したか発表させる。 ◆出てきた視点を板書し，視覚化する。 ◇自分になかった視点に気付かせる。	

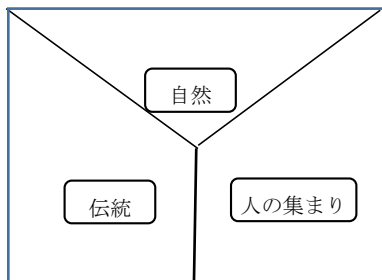
<p>学習活動</p> <p>○主な発問</p> <p>・予想される児童の反応</p> <p>□思考の場の工夫</p>	<p>◇指導上の留意事項</p> <p>★めざす児童の姿</p> <p>◆「努力を要する」状況と判断した児童への指導の手立て</p>	<p>評価規準〔観点〕</p> <p>(評価方法)</p> <p>◎本時で付けたい力</p> <p>☆育成したい資質・能力</p>
<p>4 全体で話し合う。</p> <p>○分類してみて、調べた物事の魅力はどんなところだと思いますか？</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自然が豊かなところ ・伝統行事が残っているところ ・人が集まる場所 <p>○分類の視点をもとに、ツアーガイドに入れたい物事の魅力を新しく見つけよう。</p> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>□思考の場の工夫 関係付け</p> <p>校区の魅力について、お魚ボーン図を使って関係付けながら具体化し、交流する。</p> </div> <p>5 本時の学習をまとめる。</p>	<p>◇視点について交流し、分類によって校区の魅力には、どんな特徴があるのか考えさせる。</p> <p>◇視点をもとに、自分たちが調べてきた物事の魅力について違った視点で見直す。</p> <p>◇自分たちが行った調査活動やインタビューをもとに考えさせる。</p> <p>◆グループで調査活動中の出来事を思い出させる。</p>	<p>☆物事を分類の視点と関係付けながら、新たな魅力について考えている。</p>
<p>★めざす児童の姿</p> <p>(他の分野で新たな魅力について見付け、広げてまとめている。)</p> <p>わたしは、瀬野川には鳥や魚がいっぱいで、自然が豊かなところが魅力だと思っていました。</p> <p>けれど、今日の話合いで瀬野川では夏に七夕祭りも開かれていて、たくさんの人が集まる魅力もあることも気付きました。</p> <p>(同じ分野で新たな魅力について見付け、さらに深めてまとめている。)</p> <p>わたしは、瀬野川には鳥や魚がいっぱいで、自然が豊かなところが魅力だと思っていました。</p> <p>今日の話合いで瀬野川にはきれいな花が咲いていることを知り、瀬野川には生き物だけでなく、たくさんの自然があると思いました。</p>		
<p>6 振り返りをする。</p>	<p>◇自分になかった視点をもとに考えたことを振り返らせる。</p>	<p>◎ツアーガイドに入れたい物事について、分類の視点と関係付けて新たな魅力を見付けている。</p> <p>〔情②〕(ワークシート)</p>

(4) 板書計画



〈参考〉本時で使用する思考ツール

Yチャート



お魚ボーン図

